

平成 30 年度 第 3 回 研究会, 研究委員会の近況と活動日程

岡田公治 井沢澄雄

3rd Activity Report, June 2018: Committee of Study Groups

Koji Okada Sumio Izawa

研究委員会では個別テーマ毎の研究会活動とトワイライトサロンや研究委員会フォーラム等のイベントを運営しています。平成 30 年 6 月 1 日現在の各研究会活動の予定などを掲載しますので、ご興味のある研究会への参画を是非、お願いいたします。

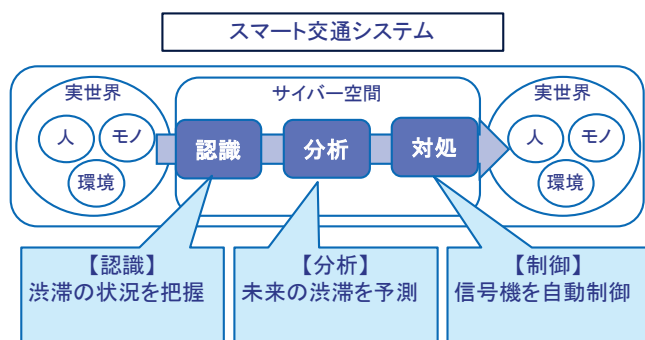
1. 研究会の活動状況

(1) 人工知能 (AI) と統計モデル研究会

(主査: 梶山 昌之 ワイハット)

当研究会は人工知能 (AI) と統計モデルをプロジェクトで活用するための研究を行います。現時点の学習・研究テーマとしては以下の 5 つになります。

- ① 人工知能 (AI) と機械学習
- ② Python の学習と活用
- ③ 統計モデルによる分析と予測
- ④ R 言語の学習と活用
- ⑤ AI プロジェクト研究



AI プロジェクト研究の様子 (5 月 15 日)

5 月 10 日の定例会では 21 名のメンバーが参加し、ニューラルネットワークの実装方法を学習しました。

5 月 15 日の「AI プロジェクト研究」では、AI システムの企画から導入までのノウハウを学びます。5 月 15 日の会合では 20 名のメンバーが参加し、人工知能システムの特徴について活発な意見が交わされました。

<直近の活動実績>

- 4 月 19 日: 定例会
- 4 月 22 日: AI と統計の基礎セミナー
- 5 月 10 日: 定例会
- 5 月 15 日: AI プロジェクト研究

<今後の活動予定>

- 6 月 16 日: AI と統計の基礎セミナー
- 6 月 18 日: 定例会
- 6 月 25 日: AI プロジェクト研究
- 7 月 02 日: 定例会
- 8 月 14 日: 定例会
- 9 月 11 日: 定例会
- 10 月 16 日: 定例会

定例会は 1 回/月 (原則として第 2 火曜日 18:30~20:30) 開催しています。ただし、毎回、発表者、参加予定者、会場の都合を反映して、開催日程を調整しますので、予定が変更になる場合があります。

当研究会では過去の学習コンテンツを蓄積しており、研究会メンバー参加者はこれらのコンテンツを社内の研修や論文作成などに活用できます。また、参加者のスキルに合わせた運営を行っていますので途中からの参加も歓迎です。

【詳細問合せ先】 kajiyama@yhat.co.jp

(2) メンタルヘルス研究会

(主査: 前田 英行 日立公共システム)

月 1 回の定例会と年 1 回のワークショップを中心に活動中です。



定例会の様子 (5 月 23 日)

<直近の活動実績>

4 月 18 日：定例会開催

「心理療法技法のプロジェクトレビューへの応用の可能性」について

マイケル・ホワイトのナラティブ実践地図を例にとりながら、実プロジェクトにおけるシーンの振る舞い方について議論しました。

- ・品質改善の時に使われる言葉と認知行動療法で「不合理な信念」と言われるものは似ているが、品質改善とメンタルヘルスは両立するか？
- ・(心構えではなく) レビューが攻撃的にならずに、レビューイも被害者にならない、構造的なレビューは可能か？

5 月 23 日：定例会開催

「ポジティブメンタルヘルス」について

WHO (世界保健機構) によるメンタルヘルスの定義、内山喜久雄の「心の健康の 5 要件」、セリグマン博士が提唱した「ポジティブ心理学」などをベースに、ポジティブメンタルヘルスの要因とライフサイクルについて議論しました。

- ・職場活性化によるメンタルヘルス不調予防は可能か？
- ・ふりかえりによるウェルネス感の効果的な測定分析方法と、その信頼度とは？
- ・Life はポジティブとネガティブの定積分である

<今後の活動予定>

6 月 20 日：定例会開催予定

7 月 18 日：定例会開催予定

9 月 19 日：定例会開催予定

【詳細問合せ先】 pmmh_all@googlegroups.com

(3) フロネシス PM (知恵ある実践) 研究会

(主査：中村 太一 国立情報学研究所)

現在は、暫定的に隔月の例会開催になっており、第 47 回の例会が 5 月 17 日に開催されました。今年の活動のテーマは、アジャイル開発その文化的視点ですので、メンバーの越後氏から「オッサンのアジャイル&スクラム奮闘記」と題した自身のスクラムマスタートレーニングの体験談とアジャイル開発への見解を述べていただきました。アジャイル開発に取り組むには、正しい知識と、セオリーの理解・習得が必要である、その上で、スクラムチームでは、メンバー同士の信頼関係をどのように築いていくのが課題である、など、日本の企業文化におけるプロセス系と人間系のバランスについて、活発な討議がなされました。2 つめの話題は、メンバー永谷の PMI の EMEA グローバルコンgressの参加談を共有しました。世界のプロジェクトマネジメントの動向は、与えられたプロジェクトを上手くマネジメントしていく視点から、ビジネス価値を高める、イノベーションを創生するプロジェクトマネジメントが主流になっており、イノベーションを促進するリーダーのあり方をテーマにした発表が多いのが特徴としてあげられます。永谷がコンgressで発表した、「*Treat your stakeholder with the spirit of Omotenashi*」も共有しました。日本のサービスの精神は、欧米のサービスとは異なり、非言語コミュニケーションが重要であり、短期的な見返りを求めない、長期的視点でのステークホルダーのエンゲージメントの観点が本発表の趣旨であります。おもてなしを活用したステークホルダーマネジメントの話題でも、活発な意見交換が成されました。

<今後の活動予定>

7 月 19 日：定例会開催予定

【詳細問合せ先】 pmkenkyu@spm-hq.jp

(4) PM 人材育成研究会

(主査：黒木弘司)

PM 人材育成研究会では、ステークホルダーについての議論を継続して行っています。

5 月度 (2018/5/16) は、研究のアプローチ方法と具体的な検討対象について議論しました。より具体的にしたテーマを設定して検討を進めると、取り組むテーマの内容について議論を行い、

PM が関わるステークホルダーとのコミュニケーションパスやステークホルダーの関与度（捉え方）とその具体的な分類方法，上位管理者や若手メンバーとの交渉系の整理，母体組織とプロジェクト以外のステークホルダーについての検討を行ってはどうかなどの意見が出ました。

6 月度は，今回検討した内容を基に具体的なテーマの設定を行う予定です。

<今後の活動予定>

6 月 20 日：具体的なテーマの設定

7 月 12 日：テーマに関する検討

9 月 19 日：テーマに関する検討

10 月 17 日：テーマに関する検討

【詳細問合せ先】 pmcom2016@freeml.com

(5) ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会
(主査：河合 輝欣 ユー・エス・イー)

ソーシャル PM の体系化を目指して，社会の基盤情報システムとしての官公庁プロジェクト等に焦点を当てて研究会を行っています。

現在，当研究会では，社会インフラプロジェクトの事例研究として，総務省の「ICT 街づくり」や東日本大震災の復旧・復興の街づくりを研究テーマとし，ICT プロジェクトマネジメントの視点から，知見・知識の集積を行い，知識や理論の体系化を試みています。

体系化の一環として，街づくりプロジェクトの導入・展開における基本的な考え方や留意事項を取りまとめたガイドラインを作成中です。

そのガイドラインにおける考え方や手法を広く社会に発信するべく，本年 10 月に研究会フォーラムを開催する予定です。

<直近の活動実績>

4 月 10 日：定例会開催

5 月 22 日：定例会開催

4 月 10 日および 5 月 22 日に開催された定例会では，10 月に開催予定の研究会フォーラムの講演内容や講演依頼者候補などについてディスカッションしました。

<今後の活動予定>

6 月中旬：定例会開催予定

8 月中旬：定例会開催予定

【詳細問合せ先】 yamamotot@nttdatacs.co.jp (山本)

(6) リスク・マネジメント研究会

(主査：木野 泰伸 筑波大学)

本研究会では，プロジェクト・リスクに関する研究を行なっています。本年度は，

- ・リスク・マネジメント教育

- ・テキスト分析を用いたリスクモデル

をテーマとして活動を行っています。現在，企業の初級 PM の方を対象としたリスク・マネジメントの研修教育を計画しており，研修内容を検討しています。

<今後の活動予定>

6 月 5 日：定例会開催予定

【詳細問合せ先】 pmkenkyu@spm-hq.jp

2. その他

活動中の研究会への参加希望や，新規研究会の提案に関する問合せは，下記までご連絡をお願いします。

【問合せ先】 pmkenkyu@spm-hq.jp

研究委員会 委員長 岡田 公治

研究委員会 副委員長 井沢 澄雄

研究委員会 担当幹事 高田 淳